

登別市事業仕分け調書

平成22年度作成

番号	B - 1	事務事業名	国際交流推進事業
-----------	-------	--------------	----------

部 名	総務部	グループ名	企画G
------------	-----	--------------	-----

事務事業コード	62211002	事業開始年度	平成 4 年度	事業終了予定年度	平成 年度
----------------	----------	---------------	---------	-----------------	-------

関連事務事業名	友好交流促進都市推進経費（中国広東省広州市との交流）
----------------	----------------------------

事務事業の実施根拠 （根拠となる法令・条例・規則・要綱等）	種別	5 市単独で実施している事務事業
	法令等名	
	法令等の内容	

実施方法	市が直接実施
	民間等へ業務委託または指定管理（委託先：）
	補助金（補助先：）

事務事業の目的と内容

対象	（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか。地域や年齢等が限定される場合は詳細に記入） 市民及び市内の国際交流団体
事業の目的	（何のために事業を実施したのか。または何のために事業を実施しているのか） 異文化に触れる機会を提供し、市民の国際理解を深めるとともに、国際化に対応できる人材を育て、地域の国際化を進める。
事業の内容	（事業の内容【手段・手法・活動など】） 登別市の国際交流を推進するため、市内の国際交流推進団体と連携しながら「国際理解講座」を開催するとともに、市内の国際交流団体が受け入れする「研修生等への支援」や「国際交流推進団体との意見交換」、「通訳ボランティアへの登録制度」を行っている。 また、友好都市協定を締結しているサイパン市との交流を進めるため、ホップウッド中学校の生徒を受け入れ、市民や生徒等と交流を図り、国際交流を推進している。

事業費

区 分			単位	20年度 決算額	21年度 決算見込額	22年度 予算額	
事業の財源内訳	国庫支出金	名称	千円				
	道支出金	名称	千円				
	その他	名称	千円				
	地方債			千円			
	一般財源			千円	491	303	698
	合 計				491	303	698
上記事業を実施するために必要となる人件費（概算）	職 員	千円	559	533	559		
	嘱 託 員	千円	900	905	992		
	臨時職員	千円	0	0	0		
	合 計		1,459	1,438	1,551		
総合計（合計 + 合計）			千円	1,950	1,741	2,249	

事業費内訳	（22年度予算ベースの事業費の具体的な内訳【節名ごと】）					
	報償費	海外からの来訪者、海外への訪問先へ贈呈する記念品121,000円				
	旅費	サイパン親善訪問随行旅費（2名分）360,000円（親善訪問にかかる旅費）				
	需用費	事務消耗品費9,000円				
	食糧費	サイパン中学生昼食代30,000円				
	役務費	外国語翻訳料50,000円				
	使用料及び賃貸料	ホテル宿泊料（サイパンからの中学生12名、引率者2名）118,000円				
	負担金・補助及び交付金	日本国際連合協会北海道本部会費 10,000円				

番号	B - 1	事務事業名	国際交流推進事業
----	-------	-------	----------

部 名	総務部	グループ名	企画G
-----	-----	-------	-----

活動実績

活動指標名 (事業のこれまでの実績【数量・回数・人員等】)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込み)
国際理解講座の参加者数(延べ人数)	人	25	171	150
デンマークからの研修生・サイパン市からの中学生との交流(参加延べ人数)	人	1,328	1,098	1,000

成果

事業の成果	(事務事業を実施したことでのどのような成果が得られたのか。現状の成果)
	市民に多くの異文化交流の機会を提供し、国際理解や国際協力を深め地域の国際化を推進している。友好都市との交流を通じて、互いの文化を理解尊重し、親密な友好関係を築きあげてきている。異文化に対する市民意識の醸成が図られている。

担当部による評価

事業の自己評価	(事業の今後の方向性、課題等)
	平成18年11月締結したサイパン市との友好都市提携同意書及び平成19年6月締結したファボー・ミッドフン市との友好都市協定書に基づき、今後も友好都市との交流を推進していくため、当事業を継続する必要がある。息の長い国際交流を行うためには、行政が主導するだけでなく、市民が主体となった交流が大切であり、国際交流団体と連携・協力を図りながら、充実と向上を図る。 課題として、ファボー・ミッドフン市との交流は、登別デンマーク協会が行っているが、サイパン市との交流については、市内に交流団体がなく、今後、設立に向け働きかける必要がある。

他の自治体の状況

比較参考値	(他の自治体での類似事業の状況)
	室蘭市：アメリカ合衆国テネシー州 ノックスビル市姉妹都市交流、中華人民共和国 山東省日照市との友好都市交流 壮瞥町：フィンランド国 ケミアルヴィ市との友好都市交流 白老町：カナダ国 ケネル市との姉妹都市交流 苫小牧市：中華人民共和国 河北省秦皇島市、ニュージーランド国 ネーピア市との姉妹都市交流

特記事項

事業の沿革等	(事業の変遷)
	平成2年7月に登別マリパークが開園。ニクス城は、デンマークのフン島に実在するイーエスコウ城をモデルとして建設され、城主や高校の合唱団が登別を訪れことから、デンマークとの交流が始まり、平成4年4月総務部に国際交流担当が配置された。平成4年度中学生海外派遣事業、平成6年度から平成17年度までデンマークからの研修生の受入にかかる国際交流推進事業、平成9年5月デンマークのリング市・ウイスリング市との「友好の絆」の調印、平成19年6月デンマークのファボー・ミッドフン市(旧リング市・ウイスリング市)との友好都市協定の締結。 平成9年度から自治体職員協力交流事業、平成11年度から国際理解講座の開催。 平成17年4月、前市長がサイパンを訪問した際に、サイパン市長から友好都市の要請がなされ、平成18年11月友好都市を締結。平成19年度からサイパン市の中学生の受け入れが始まった。 市内には、昭和60年4月に「のぼりべつ国際交流会」、平成8年6月に「登別デンマーク協会」が設立され、また「登別日中友好協会」や「登別中国語交流会」もそれぞれ活動している。その他、登別ロータリークラブや登別ライオンズクラブ、登別中央ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト登別においても、国際交流に視点を置いた活動も行われている。